

田政を問う

あなたが、気になる「質問」はありますか？

質問議員8名 質問14項目



皆さんの「へんしん」にかかわることを、議員が質問をしました。

その他の町行政	安心・安全	生活環境	産業観光	道路・交通	健康・福祉	子育て支援・教育
---------	-------	------	------	-------	-------	----------

P15 藤本元副議長が行政犯。町の被害は 荒瀧議員	P14 我々には無限責任。遺族に反省をどう伝えたいか 荒瀧議員	P13 子どもたちが遊ぶ遊具を無くさない取り組みは 水原議員	P12 防災行政無線のデジタル化。町民の反応は 中島議員	P11 コロナの影響によるごみの対策は 竹爪議員	P10 ハローズの出店についてどう考えているのか 民法議員	P9 商業モール沿いの県道延伸はいつ完成するのか 荒瀧議員	P11 熊野トンネル無料化後の状況は 山野議員	P10 熊野トンネル無料化後の状況は 沖田議員	P10 新型コロナワクチンの接種に向けた取り組みは 民法議員	P9 新型コロナでの母子保健の機能強化を 沖田議員	P9 GIGAスクール構想の準備状況は 中島議員
--	--	---	---	---------------------------------------	--	--	--------------------------------------	--------------------------------------	---	--	---------------------------------------

※ 紙面の関係により、質疑の一部のみを掲載させていただいています。また、分かりやすい紙面にするために、趣旨が変わらない程度の編集を行っています。なお、熊野町議会のホームページ (<http://www.town.kumano.hiroshima.jp>) から、一般質問の全ての内容を視聴することができます。

子育て支援教育



中島 数宜 議員

Q GIGAスクール構想の準備状況は

A 〈教育部長〉

4月の開始に向け、ICT端末とネットワーク環境の整備は完了した。

〔Q1〕 児童生徒1人1台の配備は完了したようだが、教職員の配備を含めた配備台数は。

〔A1〕 教職員の配備も含め、熊野町で2200台を配備した。

〔Q2〕 端末の管理はどのように考えているか。

〔A2〕 原則、学校内での使用を想定している。各クラスに「充電保管庫」を設置し、保管状況を担当が適切に管理していく。

〔Q3〕 各家庭への持ち帰りは考えているか。

〔A3〕 現時点では、まずは学校での使用に慣れた後、学年毎に段階を

追って自宅への持ち帰りを考えている。

〔Q4〕 教員の具体的な研修と、ICT支援員の活用はどのように考えているか。

〔A4〕 教員への事前研修は3月までに3回実施した。今後、各小中学校で主体的に校内研修を進める。

ICT支援員については新年度から学校に派遣し、円滑な導入に向け取り組みとしている。



▶タブレット端末を活用した授業



竹爪 憲吾 議員

Q コロナ禍で不登校の状況とその対応は

A 〈教育長〉

適応指導教室の新設等、家庭と連携を取り、指導を進めている。

〔Q1〕 不登校の状況は、以前に比べ小学生が増加しているようだが。

〔A1〕 全国的にも、小学生の不登校は増加傾向。

〔Q2〕 不登校の原因で最も多いのは。

〔A2〕 夜間のゲーム、スマートフォンの使用で、昼夜が逆転し朝起きられないことによる。

〔Q3〕 家庭との連携は。

〔A3〕 スクールソーシャルワーカーにより、環境改善に向け保護者、本人と接触、担任教員も連携し、自宅訪問等を行っている。

〔Q4〕 新設された校外適応

指導教室の取組内容とその成果は。

〔A4〕 学校生活への復帰、社会的な自立を目的として、学習支援や手話講座、体操教室などの体験活動、教育相談を行っている。これまでに、小中学生10名が利用し、今では、保健室や別室登校ができています。

〔Q5〕 不登校は、高校進学やその後の人生も左右すると思うが、小・中・高での連携した対策はとられているか。

〔A5〕 月に一回会議を開き連携を図っている。中学校で不登校であった生徒は進学しても改善が難しい。高校の選択肢も増えてきており、将来の生き方についても寄り添う進路指導が重要と考える。